



自由民主党女性局長
(前厚生労働大臣政務官)
参議院議員
たかがい恵美子

謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。厚生労働大臣政務官在任中は雇用・労働・年金・子育て分野を主務とし、塩崎大臣の下、過重労働の撲滅、がん対策及び認知症対策の見直し、子育て支援の強化などに取り組みました。

また、厚労科研究費に「女性の健康の包括的支援総合研究事業」が創設され、省内に「女性の健康推進室」が新設されました。2015年は、我が国の女性の健康科学が学術・行政面で明確に位置づけられた輝かしい年となりました。さらに政務官検討グループにおいては、「高齢社会への挑戦 ‘ハッピープラチナ運動’」を提唱し、必要な施策を来年度予算案に計上しています。

2016年は自民党女性局長として、女性の健康推進、児童虐待防止、防災・復興推進、女性活躍支援、地域が活きる観光振興、国際保健協力強化、女性と児童の権利擁護の7つの政策課題を掲げ、取り組む所存です。

看護系議員であることを誇りに、みなさまと心をひとつに活動して参ります。



参議院議員
石田昌宏

栃木県看護連盟の皆様 明けましておめでとうございます。

平成28年が皆様にとって、輝かしい素晴らしい年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

旧年中は、暖かいご支援を賜りましたことを衷心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、実践的な理解力、高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる「特定行為研修制度」の運用がいよいよ始まりました。責任の重さとともに、看護に対する国民の期待をひしひしと感じる歴史的な前進です。さらに、「看護師免許等の届出制度」もスタートしました。看護職とナースセンターが離職後も“つながり”を持ち継続的なキャリア支援や迅速な復職支援を可能にすることも期待されます。

今年も看護の現場に足を運び、国政に伝える努力をしてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

看護職の代表として活躍しているたかがい恵美子議員とともに、看護連盟の政策を実現すべく、皆様と全力で頑張ってまいります。

平成28年元旦



衆議院議員
木村弥生

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。4人目の看護職議員として初当選を果たしてから、早いもので1年が過ぎました。

ここまで駆け抜けて来られましたのも、先輩議員の皆様方にお育ていただいたからです。たかがい恵美子厚生労働大臣政務官（当時）は、厚労委員会の質問前で緊張している私にアドバイスをくださいました。あべ俊子議員は被災地訪問、石田昌宏議員は少年院や女子刑務所の視察同行にお声掛けくださいました。先輩方のご期待にそえるよう頑張ります。

第三次安倍内閣が打ち出した「一億総活躍社会」の基本方針には、現役世代が介護を理由に離職することのない社会づくりを進め、生涯現役社会を構築することなどが明記されました。看護職が生き生きと仕事を続けられるような仕組みづくりが加速しています。「働き続けられる職場づくり」などの看護政策実現とともに、日本に生まれたすべての子供たちが、健やかに成長していく社会づくりを目指します。本年もよろしくお願い申し上げます。